



2012(平成 24)年 1 月 20 日

各 位

東燃ゼネラル石油株式会社
東京都港区港南一丁目 8 番 15 号
代表取締役社長 ピー・ピー・デューコム
(コード番号:東証第一部 5012)
問合せ先:
エクソンモービル株式会社
広報渉外部
Tel: 03-6713-4400

当社グループの合併事業に関するお知らせ

東燃ゼネラル石油株式会社(本社:東京都港区、社長:ピー・ピー・デューコム、以下「東燃ゼネラル石油」)は、東レ株式会社(本社:東京都中央区、社長:日覺 昭廣、以下「東レ」)とのバッテリーセパレーターフィルム合併事業を、2012 年 1 月 31 日付で解消することになりましたのでお知らせいたします。以降、合併会社の主体である東レ東燃機能膜合同会社(本社:栃木県那須塩原市)は東レの全額出資会社として事業を継続いたします。

東レ東燃機能膜合同会社は、東レ(50%出資)と当社グループ(当社全額出資子会社の東燃化学合同会社と東燃化学那須合同会社がそれぞれ 25%ずつ出資)の合併事業として、2010 年 1 月に設立されました。同社には、東レと当社グループが所有するバッテリーセパレーターフィルム事業の研究開発力、生産技術力および販売の実績と経験が集結されており、栃木県那須塩原市と、韓国亀尾市(現在増設中)に製造拠点を有します。

今回当社は、東レと合併会社の円満なる解消に合意いたしました。当社はこれまで、バッテリーセパレーターフィルム事業に携わる企業として、より小型で、より安価で、より安全なりチウムイオンバッテリーを世に送り出すことに一定の貢献ができたと思っております。しかしながら、同事業の今後の成長のためには、他にも広くフィルム事業を手掛ける東レを単独の事業主とした、より簡素化され効率的な意思決定が望ましいとの認識に至りました。

また、2012年1月4日付にて、当社が現在、日本市場における事業環境の変化に対応するための戦略を、親会社であるエクソン モービル コーポレーションと策定中である旨の声明文を発表いたしました。今回のバッテリーセパレーターフィルム事業に関しての決定は、これらの戦略とは何ら関係なく、上述の理由だけによるものです。

なお、今回の合併解消に伴いまして、東レ東燃機能膜合同会社から持分の払戻しを受けることになり、平成 24 年度に当社連結ベースで約 164 億円の特別利益を見込んでいます。

以上